

## ～下記の研究を行います～

# 『HIV 感染の病期における脳梗塞病型の特徴についての 検討』

【研究責任者】 山本司郎

【研究の目的】 HIV 感染は脳梗塞発症の独立した危険因子として知られているが、その病型は多岐にわたる。HIV 感染の病期における脳梗塞病型の特徴を検討する。

【研究の期間】 研究許可日～2023 年 12 月 31 日

【研究の方法】 TOAST 分類を用いて脳梗塞病型(心原性、アテローム血栓性、ラクナ、その他、不明)を分類する。HIV 未治療／治療中断／治療開始 2 年未満を早期群、それ以外を後期群と分類し、患者背景および脳梗塞病型を比較する。また、「その他」に分類された脳梗塞について病因を調査する。

### ●対象となる患者さん

2006 年 8 月から 2020 年 10 月までに急性期脳梗塞と診断された方の中で、HIV 感染を合併されていた方

### ●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：TOAST 分類を用いた脳梗塞病型、血液データ、画像データ等

【研究の資金源】 なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 脳卒中内科 (役職名) 医長 (氏 名) 山本司郎